

わかばの杜・刈谷 放課後等デイサービス自己評価表

記入者: 加藤亜紀子

作成日: 令和 5 年 2 月 28 日
公開日: 令和 5 年 3 月 7 日

検討者(参加者): 伊藤雄大
加藤亜紀子
相良美津子
末吉真弥
田中智早

	チェック項目	5 はい	4 どちらかとい うとはい	3 どちらとも いえない	2 どちらかとい うといえ	1 いいえ	改善の必要	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	3	2	1	要 (不要)	用途に応じて、部屋の機能を明確にしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	4	3	2	1	要 (不要)	人員基準以上の人員を配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・賃貸のため改装できないので、バリアフリーにはなっていないが、安全性を配慮している。 ・トイレに手すりを設置している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・朝礼時やミーティングなどで話し合い、業務改善につなげている。 ・問題があればその都度話し合いの機会を設けている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・毎年のアンケート結果を参考に、業務改善につなげている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・ホームページ上で公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・毎月、療育についての研修を行い、資格取得のための研修などにも参加している。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・月に一度、個別支援会議を行っている。 ・定期的に利用者のアセスメントを行い、目標と支援計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・ミーティング時や、その都度職員間で話し合い、活動の内容を考えている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・運動療育や個別課題学習など、子供の成長や能力に合わせて変えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・平日、休日、長期休暇に応じて活動内容を変えている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・利用者に合わせて、個別や集団での活動内容を設定し、支援計画を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・職員が全員そろってからミーティングを行い、その日の支援の内容や役割、変更点などを話し、共有している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・送迎後、職員間でミーティングを行い、情報を共有し合い、翌日からの支援に繋げている。また、その日いない職員には連絡ノートで情報を共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・一日の様子を、学習、運動、生活に分けて記録し、職員間で共有しながら、より良い支援に繋がれるよう努力している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・6ヶ月に1回以上はモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しをしている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	4	3	2	1	要 (不要)	・ガイドラインの内容をいくつか組み合わせ支援を行っている。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	4	3	2	1	要・不要	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・送迎時間などの情報をFAXなどで学校と共有し、何かあった際も、電話連絡による連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/	/	/	/
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	4	3	2	1	要・不要	・必要があれば情報を共有する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・必要があれば情報を提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	3	2	1	要・不要	・必要があれば連携をとる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	3	2	1	要・不要	・コロナ禍の為、交流は控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・機会があれば参加していきたいと考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・家庭での様子や、生活の質の向上が図れているかどうかなどを常に共有し、共通理解している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・必要があれば行っていく。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・契約時や内容の変更時など、適切な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・保護者が抱えている不安や悩みに対応し、助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・コロナ禍の為、開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・苦情はないが、要望があった場合は迅速かつ適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・ブログで支援の様子などを発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	4	3	2	1	要・不要	・子供の特性に合わせてコミュニケーションを図り、配慮も怠らないよう気を付けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・必要があれば機会を設けたいと考えている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	・年2回、火事や地震を想定した防災訓練を行い、災害時に備え、備蓄も常備している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	4	3	2	1	要・不要	・虐待防止の研修に参加し、職員間でも周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	3	2	1	要・不要	・保護者から情報提供を基に、昼食作りやおやつなどのアレルギー対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	4	3	2	1	要・不要	・事業所全体で共有し、未然防止、再発防止に努めている。

改善内容・検討内容・達成度・期日等

- ・子供たちの発達段階や興味関心にしっかりと寄り添い、集団活動の楽しさを伝えたり、優れた部分を伸ばしていきたい。
- ・コロナ禍でいろいろな制限が多い中でも、子供たちに楽しんでもらえるような活動を考え、提供していきたい。